

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-5-18

第2824回 野外奉仕例会報告 海岸公園

- (1) 点鐘
- (2) ロータリーソング 「我等の生業」



- (3) 会長挨拶 寺崎 明博会長

皆さん、今日は！これから食事をして頂いた後清掃奉仕をしていただきます。皆様ご苦労さまです。皆さんの青いジャンパーは魚津クラブにすっかり馴染んだようです。実は今日の挨拶に野外奉仕活動と青いジャンパーのことについて話をしようかと思っておりましたが、考えてみますと先週の池上さんでの挨拶がすこし長くなりました。話が長いのは話をしている者の自己満足にしかありません。

聞いている人にとってこれほどご迷惑なことはありません。私も反省しなければなりません。

そこで頭に浮かんだことがあります。魚津のせり込み蝶六の音頭のなかに「上手で長いのは程よいけれど、下手で長いのはアクビの種よ」という文句があります。私も皆さんの欠伸の種にならない内に終わります。ありがとうございました。

- (4) 出席報告

- ・2824回の出席者 25名、出席率 71.42%。 欠席者 10名
- ・2822階の修正出席率は 74.28%でした。

- (5) ニコボックスの報告

- ① 大村雅紹さんより、海岸公園の草刈奉仕が事前にされています。
- ② 坪井孝博さんより、海岸公園の燃えないゴミの処理を昨日されました。

- (6) 委員会報告

- ・会長エレクトの野澤良成さんより、5月20日の地区協議会（国際会議場）参加について、合同で行きます。そして反省会もします。

- (7) 海岸公園での野外奉仕活動風景です。皆さん、手馴れたものですね～。

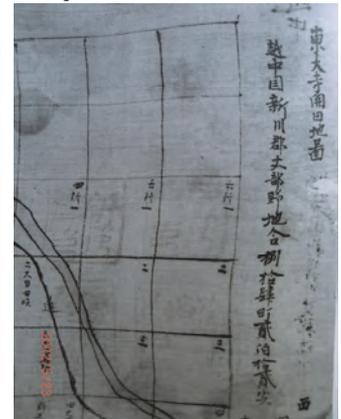
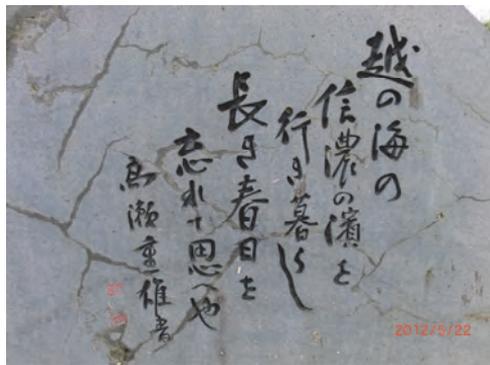


あとがき

- ・日本国内では25年ぶりに金環日食が5月21日午前7時半頃にありました。魚津では完全な日食ではなく、92%の三日月（馬蹄）日食でした。
 太古の昔から人々は星占いをしていました。今回の日食は何を示しているのでしょうか。

近所の猫が異常行動を起したと聞きました。何かがあったら困ります。

- 第2824回の例会は魚津ロータリークラブ恒例の万葉集第4020番「越の海 信濃の濱を
行き暮らし 長き春日も 忘れて思へや」の石碑のある海岸公園の清掃奉仕でした。



- その時、会員の中から「誤字があると聞いている」と言われました。それではと念のために調査をしました。
原文（漢字文）には誤字がありませんでしたが、現代訳の中に「長き春日を～」となっていますが本文では「奈我伎波流比毛～」となっています。国学大家高瀬重雄先生の書です。素人ではなんともいえないところです。
信濃の濱についても「越中国氷見郡渋谷（今大田村）の海濱」という説（佐々木信綱著 万葉辞典）もあります。
発音も「信濃の濱」は「しなぬのはま」といったという（佐々木信綱著 万葉辞典）
しかし、当時入善には東大寺の荘園がありましたし、魚津の「経田」は「京の田」からきているといわれています。
公園に行かれた時には、万葉の世界を偲びつつ現代の世に思いを馳せては如何でしょうか。

- また、自らの勉強不足を恥じました。それは万葉集の歌の中に魚津を詠んだと思われる長歌、短歌が八首ある（越中の万葉 越中万葉頭揚の会編）ということでした。

紙面に余裕がありますので参考に記載しますと、

- ①4024 立山の雪し来らしも 延槻の 河の渡り瀬 鏡浸かすも
 - ②4020 越の海の 信濃の濱を 行き暮らし 長き春日も 忘れて思へや
 - ③4000 万代の語らひ草と未だ見ぬ人にも 告げむ音のみも名のみも 聞きてともしぶるがね
 - ④4001 立山に降りおける雪を常夏に見れどもあかず神からならし
 - ⑤4002 片貝の川の瀬清く行く水の絶ゆることなくあり通ひ見む
 - ⑥4003 行く水の音もさ清けく 万代に言ひ続き行かむ河し絶えずば
 - ⑦4004 立山に降り置ける雪の 常夏に消ずてわたるは 神ながらとぞ
 - ⑧4005 落ち激つ片貝川の絶えぬごと 今見る人も止まず通はむ
- 以上です。

- 長かった寒い日も過ぎ、いよいよ暑い日が続きます。ロータリー精神の職業奉仕、社会奉仕と家庭奉仕に、ご自愛、共々努めましょう。

(平成24年5月23日)